

豊岡の宝探し

26

てら さか

寺坂 地区

(出石)

このコーナーでは、豊岡市内にある29地区の宝を紹介します。



▲伝聖観音坐像

日野辺区には、高さ33cmの小さな仏像があります。平安初期に造られたといわれる但馬最古の一木彫の木像仏で、その個性的な作風は類例もほとんどありません(平成16年3月に県重要文化財に指定)。

▼お相撲さんの墓

日野辺区には、お相撲さんの墓があります。昔、大洪水があったときにお相撲さんの死体が川上から流れてきて、村人たちが墓を造り供養したといわれています。またお相撲さんは関取なので、験を担いで、咳を取ってもらおうとお参りをする人もあったそうです。



ひがしとこのおさん

▲東床尾山の小滝

桐野区には、標高839mの東床尾山があり、桐野区側から登ると大滝や小滝と呼ばれるいくつかの滝を見ることができます。特に小滝は別名「殿様の滝」と呼ばれ、その美しい姿は殿様にも愛されたといわれています。



▲御出石神社本殿

桐野区には、天日槍をまつる御出石神社があります(本殿は昭和58年3月に市文化財に指定)。男神として知られ、毎年10月15日前後に行われる秋祭りでは、お神輿が宵宮に女神として知られる貴船神社に泊まる神事が現在も続いています。

▼ゆうれん橋(コケ山橋)

寺坂区には、「ゆうれん橋」という民話が伝わるコケ山橋があります。昔、酒好きな徳兵衛が、毎晩のように鰯山峠を越えて出石の城下まで酒を飲みに出かけるため、奥さんがこの橋の下から幽霊の格好をして脅かして酒を飲みに行くのをやめさせたという民話です。



●地区のいわれ

寺坂地区は、旧村名である「寺坂村」の名前を今に引き継いでいます。同地区は、東が但東地域に隣接し、国道426号に沿って出石川が流れています。東床尾山や有子山などに囲まれ、自然環境に恵まれた地区で、主に米作りが盛んに行われています。

●主な公共施設

- ・寺坂小学校・寺坂地区公民館
- ・豊岡消防署出石分署

●行政区

- ・中野
- ・日野辺
- ・桐野
- ・寺坂

寺坂地区

- 行政区数 4区
- 人口 682人
 - 男性 322人
 - 女性 360人
- 世帯数 206世帯
(平成19年9月1日現在)